

英 語 ・ 国 語 (100点) (60分)

【 注 意 事 項 】

- 1 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
- 2 出題科目、ページ及び選択方法は、下表のとおりです。

出題科目	ページ	選 択 方 法
英 語	3 ~ 13	左の2科目のうちから1つを選択し、 解答してください。(国語は裏表紙から① となります)
国 語	③ ~ ②	

- 3 試験中に問題冊子の印刷不明瞭、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の汚れ等に気付いた場合は、手を挙げて監督者に知らせてください。
- 4 解答用紙には解答欄以外に次の記入欄があるので、監督者の指示に従って、それぞれ正しく記入し、マークしてください。

※解答用紙の注意事項もよく読んでからマークしてください。

① 氏名欄

氏名を記入してください。

② 解答科目欄

解答する科目を一つ選んで () 内に記入し、さらにその下の ○ にマークしてください。マークされていない場合又は複数の科目にマークされている場合は、0点となります。

③ 受験番号欄

受験番号の下3桁を記入し、さらにその下の □ にマークしてください。正しくマークされていない場合は、採点できないことがあります。

- 5 解答は、解答用紙の解答欄にマークしてください。例えば、10 と表示のある問いに対して ㉓ と解答する場合は、次の(例)のように解答番号10の ㉓ にマークしてください。

(例)

解 答 番 号	解 答 欄
10	a b c d e f g h i j k l m n o

- 6 問題冊子の余白等は適宜利用してかまいません。
- 7 試験終了後、問題冊子は持ち帰ってください。

国語

解答箇所は

1

〜

30

です。

問題一、次の文章を読んで、後の問い(問1〜10)に答えなさい。

ファッションは皮膚の延長だと、よく言われます。あるいはまた、衣服は第二の皮膚だとも言われます。こういう言い方をするときには、おそらく、衣服というものがたんなる身体の覆いや容れ物ではないということが含意されているように思います。

《 i 》

そこで、A (わたし)と身体との関係について考えることから始めましょう。

じぶんの身体というものは、だれもがじぶんのもっとも近くにあるものだと思っています。たとえば包丁で切った傷の痛みはわたしだけが感じるもので、他人は頭でわかっても、わたしの代わりに痛んでくれるわけではありません。その意味で、わたしとはわたしの身体であると言いうるほどに、わたしはまちがいないわたしの身体の近くにありそうです。《 ii 》

ところが、よく考えてみると、わたしがじぶんの身体についてもっている情報は、ふつう想像しているよりもはるかに貧弱なものです。たとえば身体の全表面のうちでじぶんで見るところというのは、身体の前面のごく一部に限られています。だれもじぶんの背中や後頭部をじかに見たことはありません。それどころか、他のひとたちがこのわたしを(わたし)として認知してくれるその顔は、じぶんでは終生、じかに見る事ができないものです。ところがこの顔にこそ、じぶんではコントロール不能な感情や気分が露出してしまいます。なんと X なことです。

それだけではありません。身体の内部となると、これはレントゲンや超音波撮影機や体内カメラといった高度な技術を使わないと、ぜったいに見ることはできません。身体の内部で起こっている細かいことは、じぶんではぜんぜんわからないのです。じぶんのなかからふつふつと湧き上がってくる欲望や感情、これもわたしたちはなかなかうまくコントロールできません。痛みや

病やまいという現象も、わたしたちには不意を襲うようなかたちでやってきます。それにたいして、わたしたちはただいつも襲われるがままでいるしかないので。③ ≪わたしたちの身体は、知覚情報も乏しいし、思うがままに統制もできないという意味では、(わたし) から想像以上に遠く隔たったもののようです。

他人の身体ならわたしたちはそれを一つの物体として、他の物体のように見たり触れたりできるのですが、ほかならぬこのわたしの身体は、じぶんではいわばどこかたよらないイメージとして所有することしかできないのです。わたしたちはじぶん自身の身体を、いわば目隠ししたまま経験するしかないわけです。これは考えてみれば、(註) 物騒ものさわな事実です。フリードリヒ・ニーチェという哲学者は、その著書のなかで、「各人にとつては自己自身もつとも遠い者である」という、ドイツの古い諺ことわざを紹介していますが、身体についてもまったく同じことが言えそうです。

じぶんの身体はつねにイメージとして思い描くしかない。身体はこのように情報量の少ない、ぼんやりとした(像)であり、想像の産物でしかないのです、かんたんに揺らいでしまいます。④ ≪とてももろいものなのです。そしてこのようなもろい身体イメージを補強するために、わたしたちは日常生活のなかでいろいろな技法を編みだしてきたのです。

(註) セイモア・H・フィッシャーというアメリカの心理学者が『からだの意識』(村山久美子・小松啓訳、誠信書房、一九七九年。原題は「ボディ・コンシャスネス」です)という本のなかで興味深い(註) シテキシテキをしています。かれによると、たとえば風呂に入った時、シャワーを浴びたりするのが心地いいのは、湯や冷水のような温度差のある液体に身を浸すことによつて、皮膚感覚がはげしく刺激され、活性化されるからです。ふだん Y には近づきえないじぶんの背中の輪郭が、皮膚感覚の活性化によつてにわかにくっきりしてくるというのです。つまり、このことによつて(わたし)の輪郭が感覚的に補強されるので、じぶんと外部との境界がきわだつてきて、じぶんの存在のかたちかたしかなものとなり、気持ち安らいでくるというのです。

同じような体験は、スポーツや飲酒においても得られます。はげしい身体運動をすると、気化熱で皮膚が収縮して身体表面の緊張が高まるし、また筋肉が凝つて、ふだんはぼんやりしている身体部分(たとえば背中や腿ももの裏側)の存在感が増します。アルコールを(註) セツシユセツシユすると、血液が皮膚の表面に押し寄せてくるような感覚があつて、意識が身体表面近くに集まつてきます。これは他人と身体を接触させたり、マッサージをしてもらつたりするときにも体験されます。幼児があぐらをかいている父親の膝のあいだに入つてくるとき、あるいは押し入れや机の下などわざと狭苦しいところで遊ぶのも、きつと B 同じ効果を無意識に求めていることでしょう。それらは、(わたし) にたしかな困いを与えてくれます。

そして衣料。これについても同じことが言えそうです。というよりも、衣料こそ、ひとが動くたびにその皮膚を擦り、適度に刺激することでひとにじぶんの輪郭を感じさせるもつとも恒常的な装置だからです。眼めで見ることができない身体の輪郭が、触覚のかたちで確認できるわけです。そしてそのことで、うつろいやすいイメージとしての身体から滲じみでる不安をそつと鎮めてくれるわけです。もちろんがんじがらめに締めつけるものだと、活動しているあいだじゅう気になつてかえつて不便ですから、適度に、その存在を忘れない程度にというのが(註) ミソミソだと思えます。

だから、現在では十グラムにも満たないような軽量のワンピースでさえ技術的には製造可能となつているのに、そんなふわふわの服をわたしたちは着ようとしません。着ているか着ていないかわからないくらいソフトで、C 体表をまったく刺激しない服など、服としての意味をもたないからです。「からだにやさしい服」などといった(註) センデンセンデンコピーをよく耳にしますが、ほんとうはからだにやさしすぎる服をひとは求めないものなのです。

わたしたちはじぶんの身体を、とにかく断片的にし経験できません。見える部位、触れる部位、なかからときどき聞こえる音、腹痛や筋肉痛、尿意や鼻づまり、痒かゆみやむかつき……。それらの断片的な知覚データを、「わたしの身体」として一つの身体イメージへとまとめ上げるために、わたしたちはこのようにいろいろ工夫をくわえているのです。多くの布切れから一つの衣服が縫い上げられるように、です。このことをふまえて、E・ルモワーヌ(註) ルモワーヌ・ルツチオー二というフランスの精神分析学者は、(像)としての身体こそ(わたし) が身にまとう第一の衣服だと言っています。

そのとき、衣服というものがとても大きな役割をはたします。衣服は身体表面に恒常的に適度の刺激をあたえます。そのことで身体の断片的であまいな輪郭を補強しつづけてくれるわけです。こうしてひとは、衣服という、もう一つの恒常的な皮膚

を編みだしたわけです。その意味で、ひとはこれまで衣服のことを《第二の皮膚》と呼んできたのです。

実際、衣服がいったんじぶんの《第二の皮膚》となると、

I

。だから、服のなかというのは（わたし）の外部

であるにもかかわらず、他人にそこに手を入れられるとぞつとするのは、(エ)ヨブんな覆いを外すことではなく、皮膚をめくるような、じぶんの存在を削り取るような、はげしい感情の動揺をとまなう行為になってしまうのです。

このように、想像された自己の身体像こそがわたしたちが身にまとう最初の衣服であるとする、衣服はもはやわたしたちの存在の覆いではありません。D それなしにわたしたちはじぶんの存在を確定できないわけですから、それはむしろ、わたしたちの存在の継ぎ目ないしは蝶番ちようつがいとでも言うべきものです。

— 鷺田清一 『ひとはなぜ服を着るのか』による— (出題の都合上、一部中略・変更した箇所がある)

(注)

- 1 フリードリヒ・ニーチエ：ドイツの哲学者（一八四四～一九〇〇）。
- 2 セイモア・H・フィッシャー：アメリカの心理学者（一九二二～一九九六）。
- 3 E・ルモワール・ルツチオーニ：フランスの精神分析学者（一九一二～二〇〇五）。

問1、傍線部(ア)～(エ)の漢字と同じ漢字を含むものを、次の各群の①～④のうちから、それぞれ一つずつ選びなさい。

【解答番号

1

～

4

】

(ア) シテキ

1

- ① 駅員がケイテキを鳴らす。
- ② 窓についたスイテキが流れる。
- ③ 不正をテキハツする。
- ④ 百人力にヒツテキする。

(イ) セツシュ

2

- ① 自然のセツリには抗あむかえない。
- ② セツレツな文章を直す。
- ③ はじめてザセツを知る。
- ④ 白いセツゲンに足跡を残す。

(ウ) センデン

3

- ① センブウキをつける。
- ② 刑をセンコクする。
- ③ 理論をジッセンする。
- ④ ショホウセンを提出する。

(エ) ヨブン

4

- ① 撤退をヨギなくされる。
- ② 地位とメイヨを手に入れる。
- ③ 銀行にヨキンする。
- ④ 遠い未来をヨケンする。

問2、傍線部 (a)・(b) の本文中における意味として最も適当なものを、次の各群の①～④のうちから、それぞれ一つずつ選びなさい。

〔解答番号〕 5 ・ 6 〔

(a) 物騒

- ① 都合が悪いさま
- ② わずらわしいさま
- ③ 穏やかでないさま
- ④ どうしようもないさま

5

(b) (ミン)

- ① あいまいなところ
- ② 他とは異なっているところ
- ③ 扱いが難しいところ
- ④ 非常に重要なところ

6

⑧

問3、本文中の空欄 X・Y に入る最も適当な語を、次の各群の①～④のうちから、それぞれ一つずつ選びなさい。

〔解答番号〕 X | 7 ・ Y | 8 〔

- | | |
|-------|-------|
| Y | X |
| ① 本質的 | ① 無分別 |
| ② 視覚的 | ② 無責任 |
| ③ 物理的 | ③ 無防備 |
| ④ 経験的 | ④ 無愛想 |

問4、次の文は本文の一部である。これを入れるのに最も適当な箇所は本文中の空欄 ①～④のうちどれか。次の①～④のうちから一つ選びなさい。

〔解答番号〕 9 〔

身体とはわたしたちにとってまず不安の滲み^{にじ}でてくるところであるようです。

- ① ① ≪ i ≫
- ② ② ≪ ii ≫
- ③ ③ ≪ iii ≫
- ④ ④ ≪ iv ≫

問5、傍線部 A「わたし」と身体との関係」に関する筆者の考えの説明として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

〔解答番号〕 10 〔

- ① (a)「わたし」が身体との密接な関係を維持するためには、衣服という第二の皮膚を通じて、「わたし」と身体を結びつけるつながりを作り近づけていく必要があるといえる。
- ② (b) 身体は「わたし」の近くにある存在であるがゆえに、その重要性が忘れられがちであり、「わたし」が身体をうまくコントロールするために、「わたし」は身体との関係を見直すべきである。
- ③ (c)「わたし」が身体をじぶんのもつとみなすことは、衣服を皮膚の延長と見なすような錯覚に過ぎず、実際には「わたし」と身体の間には超えることのできない隔りがあるといえる。
- ④ (d) 身体は「わたし」の近くにあり、両者は密接な関係にはあるが、その大部分は「わたし」が直接的に知覚することができないという点では、「わたし」から遠い存在であるといえる。

⑨

問6、傍線部B「同じ効果」とあるが、どのような効果か。その説明として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

〔解答番号〕

11

- ① 皮膚感覚を刺激することで、じぶんの意識が身体の表面に集中し、じぶんの心理的な緊張がほぐれて気持ちが安らいでくる効果。
- ② 皮膚感覚を刺激することで、じぶんと外部との境界が明確化し、じぶんの存在のたしかさを実感することで気持ちが安らいでくる効果。
- ③ 皮膚感覚を刺激することで、じぶんの身体の輪郭とともに他人の存在をたしかめて孤独感がやわらぎ、気持ちが安らいでくる効果。
- ④ 皮膚感覚を刺激することで、皮膚と血液に対する感覚が先鋭化され、じぶんの生を実感することで気持ちが安らいでくる効果。

⑩

問7、傍線部C「体表をまったく刺激しない服など、服としての意味をもたない」とあるが、その理由の説明として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

〔解答番号〕

12

- ① 服の重要な役割は、触覚を通じて着た人の身体のイメージをたしかなものにして安らぎをもたらすことだが、皮膚への刺激が少なすぎる服ではその役割を果たすことができないから。
- ② 服の重要な役割は、触覚を通じてじぶんの動作に制限をかけ、じぶんの身体を望むかたちに作り変えることだが、皮膚への刺激や負荷が少なすぎる服ではその役割を果たすことができないから。
- ③ 服の重要な役割は、触覚というないがしろにされがちな感覚を意識させることであるが、軽すぎたり柔らかすぎたりする触覚的印象の弱い服ではその役割を果たすことができないから。
- ④ 服の重要な役割は、触覚を通じて固定化された自己のイメージを解体し、新しいイメージを作りあげることであるが、皮膚への負荷が少ない服ではその役割を果たすことができないから。

⑪

問8、本文中の空欄

I

に入る最も適当な言葉を、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

〔解答番号〕

13

- ① 〈わたし〉の表面はこの衣服の下に隠されます
- ② 〈わたし〉の表面はこの衣服の表面に移行します
- ③ 〈わたし〉の内面はこの衣服の表面に移行します
- ④ 〈わたし〉の表面はこの衣服の表面と混ざり合います

問9、傍線部D「それなしにわたしたちはじぶんの存在を確定できない」とあるが、どういうことか。その説明として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

〔解答番号〕 14

- ① 人間が自己の身体像を形成するための知覚データを集めるのは、常に触覚を刺激する衣服という媒介なしには困難であるということ。
- ② 衣服がもたらす恒常的な刺激がなければ自己の身体像は不安定なものであり、自己と外界の境界があいまいになってしまうということ。
- ③ 衣服による刺激がもたらすのは断片的な知覚データに過ぎないため、人間が自己の身体像を形成するには自らの想像力が必要だということ。
- ④ 人間が断片的な知覚データから自己の身体像を形成するには、多くの布切れから衣服を縫い上げるような統合の過程が必要であるということ。

12

問10、本文の内容に合致するものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

〔解答番号〕 15

- ① ニーチェは、自己と他人の身体よりも、自己と自己の身体の間にもっと大きな隔たりがあると考えた。
- ② フィッシャーは、皮膚刺激の減少や運動による筋肉の弛緩が、精神安定効果をもたらすと述べた。
- ③ わたしたちはじぶんの身体について手に入れられる知覚データの範囲でしか自己を統制できない。
- ④ 飲酒とスキンシップがもたらす感覚には、意識を皮膚の表面に集中させるという共通点がある。

問題二、次の文章を読んで、後の問い(問1～9)に答えなさい。

A 選挙は社会を変えるための手段の一つですが、それによって実現できることがある反面、実現できないこともまたあります。

選挙でできるのは国民の代表の選出であり、特に国政では政党の持つ議席数を変えることができます。たとえ政権が国民の声を黙殺するような事態があつたとしても、その後の選挙で敗北すれば、どのような政権であつても権力の座を去らなければなりません。これこそ選挙のもつ実力であると端的にいえるでしょう。

それでは実現できないことは何でしょうか。社会を変えようという立場からは、むしろこの点をはっきりさせておく必要があるかもしれません。それは、原則として「選挙は有権者に政策をえらぶ機会を与えているわけではない」ということです。

2012年の衆院選のとき、小選挙区で「TPP断固反対」を掲げた自民党の政治家がTPP推進に舵を切り替えたことを思い出してください。あるいは、なぜ2010年の沖縄県知事選で普天間飛行場の県外移設を掲げた仲井真知事が、辺野古移設(新基地建設)を承認するようなことがありえたのでしょうか。それは選挙とは違う力関係によって政治が動かされることがあるからで、私たちはたびたび政治家による「裏切り」にあいます。そして、間接民主制における次のような事実を突きつけられるのです。選挙を通じて有権者ができるのはあくまで代表の選出でしかなく、選出された代表が何をするかではないのだと。

現実の選挙は、「主権者としてその意思を政治に反映させることのできる最も重要かつ基本的な機会(総務省ホームページ)」であるという説明に十分に値するとは、とても言えないものです。

もちろん、政治家や政党は支持を失えば次の選挙を戦うことができないので、掲げた公約やマニフェストを破るのはリスクのある行為であるはずですが。しかし、次の選挙で落選させられるからといって、選挙で勝った限り、任期の間は何をやってもいいというのは違います。そのようなことがまかり通れば国民主権は名ばかりのものとなり、選挙はXのアイツをたどるでしょう。

13

例えば政権交代が可能な二大政党制があつたとしても、政権交代ができるということは健全な民主主義を保障はしません。政権を担った政党が公約に反してひどい政策を行い、それに反発した有権者が政権交代を実現したとします。しかし、新しく政権を担った政党がまた同じようにひどい政策を行い、政権交代を繰り返すということになったら、その選挙はいったい何の意思を反映するのでしょうか。

私たちはそれぞれが様々な悩みを抱え、様々な問題意識を持ち、あるべき未来社会を考えます。しかし選挙でできるのは、一つ一つの政策を選ぶことでも政策への賛否を表明することでもなく、政策、実績、人柄などを総合的に評価して、候補者や政党を選ぶことでしかありません。また、その選ぶという行為もまた、自ら候補者を ^(イ) ヨウリツした一部の人たちを除けば提示された選択肢によるものでしかなく、投票する人は時に「どちらがより愚劣でないか」という苦しい判断をつきつけられるのです。

選挙があくまで政治家や政党を選ぶものであるならば、国民はどうかやって個別の政策への意見を表明し、政治家に伝達したらいいのでしょうか。その機会の一つとして、例えばデモが挙げられます。《 i 》「デモによって政治が変えられていいのか、選挙で意思を示すのが民主主義ではないのか」という主張がされることがありますが、選挙では個別の政策への意思を満足に示せないからこそ、それを行うデモという機会を民主主義は確保するわけです。《 ii 》

また、選挙で勝つということは Y に権力に与るといふことにすぎず、勝者の任期が終わった後には次の選挙がやってきます。応援した側が勝つても負けても、常に「その先」が続いていくのですから、大事なのはいつも、樂觀せず、また失望せず ^(ウ) ニンタイ強くその先を変えていくことになるのでしょうか。《 iii 》民主的な社会ではどのような立場の人も団体も、次の選挙を目指して様々な取り組みをすることが可能となっております。たとえ選挙に負けたからといって沈黙する必要はないし、勝利した政党や候補者を受け入れなければならないということもありません。2016年のアメリカ大統領選挙でトランプ氏が勝利をおさめた後、かの民主主義大国で起きたのは全土に及ぶ反トランプの抗議行動の嵐でした。《 iv 》選ばれた代表を批判し、受け入れないという意味表示をする場合も、手続きも用意しているのが民主主義なのです。ですから ^B もし「デモ

ではなく選挙で意思を示せ」などということをやアメリカの人が聞いたとしたら、トランプ氏でも呆れ顔になってしまふでしょう。

私たちはデモであれ選挙であれ、様々な政治との関わり方を必要に応じて選択することができます。羊のように投票所に並んで羊のように一票を入れ、後は黙っていることが民主主義なのでは決してありません。また、日本の主権者は有権者ではなく「国民」ですから、政治に参加し、社会のあり方について判断し、行動していくのは選挙権を持つ人に限りません。私たちの社会では、そうした人たちも含めて、それぞれの立場から、様々な形での政治への参加が可能となっております。

それでは「様々な形での政治への参加」にはどういったものがあるのでしょうか。ここでいちど、私たちがどのようにして政治と関わっているのかを考えてみましょう。

^(注) 蒲島郁夫氏の『政治参加』にあるように、「政治参加とは政府の政策決定に影響を与えるべく意図された一般市民の活動」であるというところがこれまでの主流でした。具体的には、投票に行くこと、選挙運動に関わること、デモをすること、政治家と接触すること、自治会の政治活動に参加することなどが挙げられます。

しかし私たちが社会に不安や ^(エ) キウクツさを感じたり、政治がこのままでは誤った方向に進んでしまふと思ったとき、取りうる行動はこうしたものに限られているでしょうか。例えば政治にかかわる第一歩として、まず家族や友達に話して共感を得たりすることはないでしょうか。あるいは文章で訴えてみたり、抱いた感情を芸術にして相手の心を揺さぶるのはどうでしょうか。そう考えていくと私たちに様々な方法があるはずですよ。

政治参加という概念は、より拡張されたものとして、I「と再定義できるのではないのでしょうか。これには従来の政治参加に加えて、家族や友達に話すことや、インターネットで自分の考えを発信すること、文章を書くこと、絵や詩を発表することなどが含まれます。

確かに政治を変えようとするとき、選挙やデモは有効な方法です。選挙はその結果により、有無を言わず政治家の当落を決めていくものです。デモもまた、政策決定に大きな影響を与えてきた歴史を持っています。こうした実力行使に重きをおくなら

ば、政治参加は従来のような範疇になるのが自然でしょう。

しかしながら一人ひとりには、選挙やデモに参加するより前に普段の生活があり、それぞれが人と人との関係の中で浮かび上がる想いを持っています。そうして、例えばある人は自分の親が歳をとっても健康に生活できるよう、自分の子供が周囲との軋轢の中で歪められることなく育つことができるよう、自分の故郷が汚染されたり破壊されることのないよう、そして自分が自由であるように、それぞれの生活から浮かび上がる実感の中で、社会をより良いものにしてしようと考えます。選挙で票を集めたり、デモに人を集めたりすることができるのは、一人ひとりがそうした想いを言葉や態度などの表現にして、相手の心を揺さぶることができるからこそです。

ある人の表現が、それを受け取る人の心にとどまったり、心を動かしたりすることがあります。そうすると受け取った側の人の振る舞いもこれまでとは違ったものになり、そうして発せられた新たな表現がまた他の人へ伝わっていきます。この連鎖は空間を超えて社会に広がり、時間をこえて未来に広がります。ですから政治とのかかわり方も従来の政治参加だけというふうに限定せず、文章を書くのでもいいし、絵を描くのでもいいし、歌うのでもいい。日常生活の中で家族や友達や(オ)ドウリヨウと関わっていくのでもいい。そしてもちろん投票するのもいい。望む未来に向けて表現を放ち続けることが生きるということ、それが未来をひらくのだという立場をとるわけです。

—三春充希『武器としての世論調査—社会をとらえ、未来を変える』による—(出題の都合上、一部中略した箇所がある)

(注) 1 TPP:環太平洋パートナーシップ協定。二〇一六年に環太平洋地域の十二ヶ国で署名された経済連携協定。

2 蒲島郁夫:日本の政治家・政治学者(一九四七〜)。

問1、傍線部(ア)〜(オ)の漢字と同じ漢字を含むものを、次の各群のa〜dのうちから、それぞれ一つずつ選びなさい。

〔解答番号 16 〳 20 〕

(ア) イット

- a トホウに暮れる。
- b トタンの苦しみを味わう。
- c 政治生命をトす。
- d 夜空のホクトシチセイ。

(イ) ヨウリツ

- a イカイヨウを治す。
- b 日本ブヨウを習う。
- c 金属部品をヨウセツする。
- d 友人とホウヨウを交わす。

16

17

(ウ) ニンタイ

- a タイダな休日を通す。
- b タイキユウ性の高い素材。
- c 名作をカンコツダツタイする。
- d 来客をカンタイする。

(エ) キユウクツ

- a キユウチに立たされる。
- b 責任をキユウダンする。
- c キユウキユウシャが出勤する。
- d 犬は優れたキユウカクをもつ。

18

19

(オ) ドウリヨウ

- a 視界がメイリヨウになる。
- b ガクセイリヨウに入居する。
- c カクリヨウを任命する。
- d 写真の掲載をリヨウシヨウする。

20

問2、傍線部(a)・(b)の本文中における意味として最も適当なものを、次の各群の①～④のうちから、それぞれ一つずつ選びなさい。

〔解答番号〕 21 ・ 22 〔

(a) 黙殺

- ① 後回しにすること
- ② 見て見ぬふりをする事
- ③ 慎重に取り扱うこと
- ④ 拒絶して受け入れないこと

21

(b) 軋轢

- ① 競い合うこと
- ② 互いを信頼すること
- ③ 協力すること
- ④ 不仲になること

22

⑱

問3、本文中の空欄 X ・ Y に入る最も適当な語を、次の各群の①～④のうちから、それぞれ一つずつ選びなさい。

〔解答番号〕 X | 23 ・ Y | 24 〔

X

- ① 私物化
- ② 二極化
- ③ 形骸化
- ④ 流動化

① 形式的

② 一時的

③ 偶然的

④ 便宜的

Y

問4、次の文は本文の一部である。これを入れるのに最も適当な箇所は本文中の空欄①～④のうちどれか。次の①～④のうちから一つ選びなさい。

〔解答番号〕 25 〔

ですから「選挙で代表を選ぶ」「デモで政策への意見を表明する」というように、選挙とデモは異なる機能を担うものなのです。

- ① ① ≧ i ≧
- ② ② ≧ ii ≧
- ③ ③ ≧ iii ≧
- ④ ④ ≧ iv ≧

問5、傍線部A「選挙」とあるが、これについて筆者はどのように述べているか。その説明として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

〔解答番号〕 26 〔

⑲

① 選挙は社会を変えるための手段の一つであるが、選挙によって選ばれた代表者が選挙前の公約やマニフェストの内容を破ることも多いため、実際には有権者の意思を正しく政治に反映しているとはいえない。

② 選挙だけでは社会を変えるための手段としては不十分であり、有権者の望む政策が実現されるかどうかは、二大政党制などによって政権交代が定期的に行われるかどうかにかかっている。

③ 選挙は社会を変えるために有用な手段であるが、その重要性を有権者が意識していないために、選挙以外の力関係により政治が動かされる状況が定着してしまっている。

④ 選挙は健全な民主主義を構成する一つの要素ではあるが、性善説を前提として設計された不完全な仕組みであり、そのことが政治家による有権者への裏切りを誘発している。

問6、傍線部B「もし『デモではなく選挙で意思を示せ』などということアメリカの人が聞いたとしたら、トランプ氏でも呆れ顔になってしまうでしょう」とあるが、ここで筆者はどのようなことを言いたいのか。その説明として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

〔解答番号〕 27

- ① 民主主義をよく理解しているアメリカの人にとっては、政治的な意思表示の手段として選挙が信頼できないことは周知の事実であり、選挙結果によって有利な立場に立つてもその認識は変わらないであろう。
- ② 民主主義体制の歴史が長いアメリカの人にとっては、選挙ではなく平和的なデモによって政治的な意思表示を行うことが、その人の教養の見せ所であると考えられているということ。
- ③ 民主主義が根づいているアメリカの人にとっては、政治的な意思表示の手段は選挙のみに限られているわけではなく、デモを通じて現政権やその政策を批判することも当然の権利だと考えられているということ。
- ④ 民主主義を信頼するアメリカの人にとっては、政治との関わり方の自由を保障することが人権の尊重であり、自分と異なる政治的立場の人々に対しても一定の敬意を払うことが当然の礼儀だと考えられているということ。

⑳

問7、本文中の空欄

I

に入る最も適当な言葉を、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

〔解答番号〕 28

- ① 社会を変えようという意図が含まれたあらゆる行動や表現活動
- ② 社会を変えようという意図に限らないあらゆる行動や表現活動
- ③ 社会をより良く変えることのできるあらゆる行動や表現活動
- ④ 社会の実態をとらえようとするあらゆる行動や表現活動

問8、傍線部C「それが未来をひらくのだ」とあるが、何がどのように「未来をひらく」のか。その説明として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

〔解答番号〕 29

- ① 従来の政治参加の枠を超えて表現をはじめた人々の活動が人の心を動かし、社会が変化していくということ。
- ② 従来の政治参加とは異なる一人ひとりの表現活動が政治参加の新しい形式となり、政治が変化していくということ。
- ③ 従来の政治参加者とは異なる一人ひとりの表現者の層が時代の流れをつかみ、政治を変えていくということ。
- ④ 従来の政治参加にとどまらない一人ひとりの表現活動が人の心を動かし、社会が変化していくということ。

問9、本文の内容に合致するものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

〔解答番号〕 30

- ① 過去の政治参加活動のやり方は、投票・選挙運動・デモ・政治家との接触などの身近な人からの理解を得られにくい方法が主流であった。
- ② 政治参加は有権者に限らず行うことができるものであり、選挙に限定しなければ日本国民は様々な方法で政治に参加する道が開かれている。
- ③ 選挙とは異なる力関係による政治の事例として、日本の国政や地方政治だけでなく、アメリカの地方政治についても挙げられている。
- ④ 選挙はその制度上実現できないことがあるが、政治の腐敗によって前者の実質的な領域は縮小していく傾向にある。

㉑